

第2 農業経営の規模、生産方式、経営管理の方法、農業従事の態様等に関する営農類型ごとの効率的かつ安定的な農業経営の指標

第1で示したような目標を可能とする、効率的かつ安定的な農業経営の指標として、現に飯豊町及び周辺市町で展開している優良事例を踏まえつつ、飯豊町における主要な営農類型については次のとおりである。

【個別経営体】

(平坦部・中山間部)

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
水稲単作	作付面積 水稲 =980a 作業受託=400a 大豆団地=420a 経営面積：1800a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育苗関連機械 1 式 ・ トラクター(50ps) 1 台 ・ 田植機(乗用 6 条) 1 台 ・ 自脱型コンバイン(5 条刈) 1 台 ・ プロトキスター 1 台 ・ 軽トラック 1 台 ・ 籾乾燥調整施設利用 ・ 育苗ハウス 560 m² ・ 農作業場 29 坪 ・ 格納庫 20 坪 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複式簿記記帳 ・ 青色申告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働安全
水稲 + 畜産 (肥育牛)	作付面積 水稲 =450a 牧草団地=150a 経営面積：600a 飼養頭数 肥育牛=50 頭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育苗関連機械 1/3 式 ・ トラクター(40ps) 1 台 ・ 田植機(乗用 5 条) 1 台 ・ 自脱型コンバイン(3 条刈) 1 台 ・ 軽トラック 1 台 ・ 籾乾燥調整施設利用 ・ ヘイベラー 1/3 台 ・ マニウスプレッダー 1/3 台 ・ 育苗ハウス 260 m² ・ 農作業場 20 坪 ・ 格納庫 20 坪 ・ 牛舎 100 坪 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複式簿記記帳 ・ 青色申告 ・ 畜産コンタクト活用 ・ 部門別経営管理能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働安全 ・ 農作業環境の改善
水稲 + 畜産 (酪農)	作付面積 水稲 =210a デントコン団地=90a 飼料畑 =510a 経営面積：810a 飼養頭数 乳牛 =36 頭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育苗関連機械 1/3 式 ・ トラクター(40ps) 1 台 ・ 田植機(乗用 5 条) 1/3 台 ・ 自脱型コンバイン(3 条刈) 1/3 台 ・ トラック(1t) 1 台 ・ 籾乾燥調整施設利用 ・ コーンハーベスタ 1 台 ・ マニウスプレッダー 1 台 ・ バルククーラー 1 台 ・ 育苗ハウス 95 m² ・ 農作業場 20 坪 ・ 格納庫 20 坪 ・ 牛舎 130 坪 ・ 堆肥舎 20 坪 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複式簿記記帳 ・ 青色申告 ・ 自己資本の充実 ・ 部門別経営管理能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働安全 ・ 農作業環境の改善 ・ ヘルパーの導入による週 1 回以上の休日の確保 ・ 雇用の確保

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
水稲 + 畜産 (繁殖)	作付面積 水稲 =350a 牧草 =150a 経営面積：500a 飼養頭数 繁殖 30頭	・育苗関連機械 1/3式 ・トラクター(25ps) 1台 ・田植機(乗用 5条) 1台 ・自脱型コバイン(3条刈) 1台 ・軽トラック 1台 ・籾乾燥調整施設利用 ・ヘイバーラ 1/3台 ・農作業場 20坪 ・牛舎 60坪	・複式簿記記帳 ・青色申告 ・自己資本の充実 ・部門別経営管理能力の向上 ・経営研修機会の確保	・労働安全 ・農作業環境の改善
水稲 + 露地野菜	作付面積 水稲 =350a アスパラガス=30a きゅうり=50a 経営面積：430a	・育苗関連機械 1/3式 ・トラクター(25ps) 1/2台 ・田植機(乗用 5条) 1/2台 ・自脱型コバイン(3条刈) 1/2台 ・軽トラック 1台 ・籾乾燥調整施設利用 ・動力噴霧機 1式 ・うね立てマルチャー 1台 ・育苗ハウス 130㎡ ・農作業場 20坪 ・格納庫 20坪	・複式簿記記帳 ・青色申告 ・自己資本の充実 ・部門別経営管理能力の向上 ・経営研修機会の確保	・農作業環境の改善 ・休憩時間の確保
水稲 + 施設野菜	作付面積 水稲 =420a トマト =50a (後作刈=50a) 経営面積：470a	・育苗関連機械 1/3式 ・トラクター(25ps) 1台 ・田植機(乗用 5条) 1台 ・自脱型コバイン(3条刈) 1台 ・軽トラック(1t) 1台 ・籾乾燥調整施設利用 ・うね立てマルチャー 1台 ・トマト栽培関連資材 1式 ・動力噴霧機 1台 ・暖房機 8台 ・育苗ハウス 180㎡ ・農作業場 20坪 ・パイプハウス 1200坪	・複式簿記記帳 ・青色申告 ・自己資本の充実 ・部門別経営管理能力の向上 ・経営研修機会の確保	・農作業環境の改善 ・休憩時間の確保 ・ハウス環境に対応した健康管理
水稲 + 花卉 (ハウス)	作付面積 水稲 =300a 花卉(2作)=20a 大豆 110a 経営面積：430a	・育苗関連機械 1/3式 ・トラクター(25ps) 1/2台 ・田植機(乗用 5条) 1/2台 ・自脱型コバイン(3条刈) 1/2台 ・軽トラック 1台 ・籾乾燥調整施設利用 1台 ・ポットングマシン 1台 ・動力噴霧機 1台 ・暖房機 4台 ・運搬用車 2台 ・除雪機 1台 ・育苗ハウス 160㎡ ・農作業場 20坪 ・パイプハウス 60坪	・複式簿記記帳 ・青色申告 ・自己資本の充実 ・部門別経営管理能力の向上 ・経営研修機会の確保 ・経営役割の体制の明確化	・農作業環境の改善 ・休憩時間の確保 ・ハウス環境に対応した健康管理

【組織経営体】

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
稲単作 (主たる農業従事者5名)	作付面積 水稲 = 42ha 大豆 = 18ha 作業受託=20ha 経営面積：80ha	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育苗関連機械 1式 ・ トラクター(40ps) 3台 ・ 田植機(乗用8条) 3台 ・ 自脱型コバイン(5条刈) 3台 ・ トラック(1t) 2台 ・ ブロードキャスター 2台 ・ 育苗ハウス 2400㎡ ・ 農作業場 25坪 ・ 格納庫 25坪 ・ 籾乾燥調整施設利用 ・ 農地の集積は集落での合意形成を図る ・ 1団地 2ha程度の連担化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経理担当者を置き経営管理の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常時従事者の社会保険加入、施設の充実 ・ 労働の安全、休憩・休日の確保
酪農 (主たる農業従事者8名)	作付面積 牧草 =10ha デントコーン=10ha 経営面積：20ha 飼養頭数 搾乳牛 =200頭 育成牛 = 40頭	<ul style="list-style-type: none"> ・ トラクター(50ps) 4台 ・ トラック(2t) 3台 ・ マニユアスプレッタ 2台 ・ ブロードキャスター 1台 ・ ヘイベアラ 3台 ・ ロータリーモア 2台 ・ コーンハーベスタ 2台 ・ フォーレージワゴン 2台 ・ バキュームカー 1台 ・ パンクリーナー 1式 ・ バルカラー(2500l) 2台 ・ ショベルローダー 1台 ・ 格納庫 40坪 ・ 牛舎 950坪 ・ 堆肥舎 100坪 ・ 飼料タンク(7t) 4基 ・ サイロ 1,000㎡ ・ 搾乳機器 1式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経理担当者を置き経営管理の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酪農ヘルパーの利用による休日交代制の確立

- (注) 1. 個別経営体に係る各営農類型ごとの農業経営の指標において、その前提となる労働力の構成については、ここでは標準的な家族農業経営を想定し、主たる従事者を1人、補助従事者1～2人と示している。なお、平坦部・中山間部・山間部と分類しているが、展開によっては区域が相互することもある。
2. 組織経営体とは、複数の個人又は世帯が共同で農業を営むか、これと併せて農作業を行う経営体であって、その主たる従事者が他産業並の労働時間と地域他産業従事者と比べ遜色ない水準の生涯所得を確保できる経営を行い得るもの(例えば、農事組合法人、有限会社の他、農業生産組織のうち経営の一体性及び独立性を有するもの。)である。